

25

あり・居る(居り)

← 侍り(ラ変)
候ふ(ハ四)

(エライ人のお側に)お仕えする・伺候する・お控えする
さぶらふ||うかがうの意味もある

※「侍り・候ふ」の上に動作対象(エライ人のお側・エライ人の所など)があったり、または動作対象意識が強い(動作対象が補える)ときの「侍り・候ふ」は謙讓語。

尊敬語【四段活用】

は・ひ・ふ・ふ・へ・へ

本 お与えになる・くださる

補 おくになる・おこなさる

謙讓語【下二段活用】

へ・へ・〇・ふる・ふれ・〇

補 します・(さ)せていただく

※①会話・手紙にしか使われない

②「思ひ(思う)・見・聞き・知り」の下につく

③謙讓語だが、敬意の対象はその話を聞いている人! ↓機能は丁寧語

26

※たまふ「給ふ」(ハ下二)